

転勤族の配偶者ヒアリング(てんつま CAFE)



てんつまCAFEに参加する自衛隊等の転勤により舞鶴へ移住した配偶者を対象に、現在の暮らしの満足度や課題、2040年の舞鶴に望む姿についてヒアリングを実施。

日 時:2026年1月15日(木)

場 所:中総合会館(フレアス舞鶴)

参加者:8名



転勤族の配偶者ヒアリング結果

現状：舞鶴の魅力や暮らしの課題等

1. **人のあたたかさ**と**住みやすさ**：当初は不安や「田舎」という印象を持っていたが、実際に住んでみると町中などで声をかけてもらえるなど人があたたかく、「住みやすい」と感じる人が多い。
2. **子育て環境の充実**：公園や子育てひろば、「あそびあむ」などの施設が充実している点を高く評価。「あそびあむ」は土日でも利用できる点が高評価ポイント。
3. **医療・交通インフラへの不安**：小児科の少なさや病院の待ち時間の長さが課題。また、車がないと不便で、公共交通（バス）の少なさも課題。
4. **情報の入手方法**：子育てアプリ「まいココ」やインスタなどのSNS、ママ友同士の口コミが主な情報源。
5. **仕事と家庭の両立**：在宅ワークやフルリモートへの意向がある一方、乳幼児がいる家庭では学習や仕事の時間の確保が困難。
6. **見知らぬ土地での交流の機会**：てんつまCAFEなどを通して、知り合いがいない土地で、同じ境遇（自衛官の妻など）の人と出会い、悩みを共有できる場が大きな精神的支えになっており、行政による交流の機会提供を高く評価。

未来：ずっと住み続けたいくなるまちへ

1. **教育の選択肢とサポート**：子どもが成長した際、教育面でも充実したまちを希望。例えば、高校などの選択肢が少なく、市外への通学費補助など、舞鶴に住みながら学べる仕組みなどがあると良い。
2. **商業施設の充実**：ショッピングモールやコストコなど、大人も中高生、子どもも楽しめる、飽きのこない遊び場や買い物の場の創出を期待。
3. **東西の機能維持**：生活圏内（東西それぞれ）に図書館含め必要な施設を維持してほしい。
4. **スキルの活用と可視化**：デジタルマーケティング等の講座に関心はあるが、「学んだ先でどう活躍できるか」という具体的な出口が見えることが受講の動機付けに必要。

転勤族(自衛隊員)と転勤族の配偶者ヒアリング比較

	転勤族(自衛隊員)	転勤族の配偶者
第一印象	「何もない」「都市部から遠い」といった 物理的な不便 が先行。	「場所を調べて絶望した」など、未知の土地への 心理的不安 が強い。
舞鶴の魅力	趣味と実益 : 安いキャンプ場、美味しい魚。職場と住居が近いこと。	人のあたたかさ : 知らない人が声をかけてくれる、荷物を運んでくれる優しさ。
子育て・教育環境	ハード面への要望 : もっと大きい遊具のある公園。 教育環境への不安 : 高校教育の選択肢の少なさを懸念。公平な教育費支援も希望。	ソフト面への評価 : 子育てひろば、「あそびあむ」などの施設が充実し、スタッフが親切。 教育環境への不安 : 高校教育の選択肢の少なさを懸念。市外への通学費補助など、舞鶴に住みながら学べる仕組みに期待。
生活の不満	都市機能の欠如 : ネットカフェなど一人になれる時間の場所がない。ゴミの分別が複雑で回収が少ない。	専門インフラの不足 : 小児科が少なく待ち時間が長い。夜間や急な産気づいた時のタクシー不安。
買い物・娯楽	チェーン店の安心感 : 丸亀製麺や焼肉きんぐが欲しい。一箇所でも長時間滞在できる大型モールを希望。	利便性の向上 : ショッピングモールやコストコなど、大人も中高生、子どもも楽しめる、飽きのこない遊び場や買い物の場の創出を希望。
地域との関わり	情報の欠如 : 自治会や地域の情報が届かない。地域との関わりを求めない層もいるが、市民と隊員が自然に交流できる機会の創出を期待。	つながりの希求 : 知り合いがいない不安を「てんつまCAFE」等の交流の場で解消につながっており、交流の場を希望。
定住への考え	否定的(現実路線) : 退職後の仕事がない。交通の便が悪く、老後が不安。	条件付きで肯定的 : 実家に近い、または子育てや仕事の条件が揃えば住み続けたい。